

目次

- 1面 ICT学習会/保護者の皆様へ
- 2面 市P協70周年記念特集 各区PTA紹介
- 3面 第66回 日本PTA全国研究大会新潟大会
- 第50回 日本PTA関東ブロック研究大会
- 第74回指定都市情報交換会 北九州大会
- 4面 親と子のつどい/生学生会表彰式

# 市P協かわさき

発行者 川崎市PTA連絡協議会  
 会長 山本 勇樹  
 編集 市P協広報委員会  
 事務局 川崎市川崎区富士見2-1-3  
 ☎ 044-210-0072  
 FAX 044-210-0073  
 市P協HP <http://www.pta-kawasaki.jp/>  
 印刷所 有限会社 協立印刷社  
 ☎ 044-222-4205

## ICT学習会

# 子どもをネット犯罪から守るために

2018年7月10日(火)エポックなからにて、川崎市PTA連絡協議会主催のICT学習会を開催しました。ネットを便利なツールとして賢く利用できる子どもを育てるためには、子どもが抱えるリスクを、保護者自身のこととして考え、気持ちや課題を共有することが大切です。また、子どもたちがネット利用について主体的に考えられるよう、家庭でも話し合える環境を作るためにはどうしたら良いか、様々な事例から学び考えました。

### 基礎講座/事例報告

#### ① ネットを通じた子どもの犯罪被害について

警察庁生活安全少年課 少年保護対策室長 警視長 松木 秀彰氏



松木 秀彰氏

#### 1. 統計(平成29年)

児童ポルノ事件被害数は年々増加傾向にあり、平成29年の学職別人数では、高校生が約4割、中学生が4割弱、小学生以下が約2割を占めている。被害の態様としては、いわゆる「自撮り被害」が最も多く、約4割を占め、スマートフォンでSNSを介し画像を送って被害者からの要求で画像を送ってしまう事例が8割を超えている。また、かつては出会い系サイトに起因する事犯が多かったが、平成20年の法改正以降、減少傾向にあるのに対し、青少年のスマートフォンなどの書き込みによるSNSへの書き込みも増加している。

#### 2. 被害実態

子ども自身がSNSへの書き込みを行い、それがきっかけで面識のない者と知り合うことが、犯罪被害のきっかけとなるケースが多い。その中には、積極的に援助交際を募集するものもあるが、自己紹介や友だち募集、家出したい等の書き込みから被害に遭っている。

#### 3. 対応のお願い

家庭における対応としては、子どもが安全にインターネットを利用できるようにフィルタリングをかける。また、家族に相談できず泣き寝入りが多い犯罪なので、スマホ利用のルールを子どもと話し合い、困った事があつたらすぐ相談するようにさせる。そして、被害を発見したら必ず警察に相談をする。

子どもが被害に遭った場合、加害者からの接触へのSNS上でも被害は生

じうる。中にはGPS連動型や利用者の動画をリアルタイムで配信するもの、ランダムに知らない者同士を引き合わせるもの等、面識のない者と簡単に知り合えるアプリがあり、女の子向けのスマホオンラインゲームに男が入り込み接触するケースもある。

子どもが自撮り送信させられた場合、「連絡先と顔写真をぼかす」と脅し、裸の写真を送信させる。

甘言型 仲の良い相手に嫌われたくないという心理に付け込み、写真を送らせる。

対償供与型 アイドルグループのコンサートチケット等「〇〇あげるから」という対価をつける。

なりすまし型 芸能関係者や子どもと同性で年齢の近い人物になりすます。

これらの手口が複数使用され、追い詰められて、周りにも相談できず画像を送ってしまうケースもある。

家庭における対応としては、子どもが安全にインターネットを利用できるようにフィルタリングをかける。また、家族に相談できず泣き寝入りが多い犯罪なので、スマホ利用のルールを子どもと話し合い、困った事があつたらすぐ相談するようにさせる。そして、被害を発見したら必ず警察に相談をする。

#### ② ネット今どきの子ども事情

兵庫県立大学環境人間学部 准教授(教職担当) 竹内 和雄氏



竹内 和雄氏

子どもも大人も今やインターネットは、なくてはならないものになりつつある。子どもの憧れの職業としてユーチューバーが浮上して来ており、専門学校も順番待ちで容易には入れない状況。ただインターネットには、危険が潜んでおり、パソコンでの被害はウィルスバスターである程度回避できるが、スマホの場合それが無い。犯罪被害のみならず、子どもたちの学校でのトラブルの殆どが学校裏サイト等からのネットいじめである。最近の流行としては、ツイッター・インスタ・スノー・ミク

#### パネルディスカッション

コーディネーター 竹内 和雄氏  
 パネリスト 松木 秀彰氏  
 竹内研究室(ソーシャルメディア研究)2名  
 館 副会長

① ネット利用で子どもが抱えるリスクとは?  
 スマホを持ち始めるのは、殆どが中学生からで、男子はゲーム利用、女子はツイッターやインスタグラム等を楽しんでいることが多い。ネットを長時間利用する子どもは、睡眠時間が減る、よくイライラする、勉強に自信がないと答える割合が多くなっている。

また勉強のアプリ使用や、調べものでスマホを利用する事もあるが、勉強の息抜き、ストレスから逃れるために利用するという。子どもたちは、SNS上で「死にたい」という言葉を送ることも少なくない。暴走から嫌だ」と言う。そこで大人の私たちもネットについて勉強し、冷静になって聞いてあげられる体制を作っておくことが必要である。

ルール作り 子ども自身がフィルタリングをかけていたとしても防げない。困った事があればすぐに保護者に相談する事をよく話し合う。

大事な事 リアルで辛い、寂しい子どもがネットに逃げている。スマホの問題は心の問題。愛されていると認識してたり

状況。ただインターネットには、危険が潜んでおり、パソコンでの被害はウィルスバスターである程度回避できるが、スマホの場合それが無い。犯罪被害のみならず、子どもたちの学校でのトラブルの殆どが学校裏サイト等からのネットいじめである。最近の流行としては、ツイッター・インスタ・スノー・ミク

自分の好きなこと・やりたいことがあれば、ネットに逃げることではない。うちの子は大丈夫と思わず、常に新しい情報を入れ、思春期のプライドを守りながら、あなたを愛しているよという事を言葉や行動で伝えていくことが重要である。

困った時は、「#9110」全国共通サイバー犯罪対策課に連絡を!

【たのしいおみやげ】 小学生のための「スマホ・ケータイ安全教室」

大きな地震が発生した時、いたずらで「動物園からトラが逃げた!」と嘘の投稿をしてしまった僕。気づけば町はパニックに。僕は偽計業務妨害で、逮捕されてしまった。

ネットでは被害だけでなく、自分自身が加害者になることもあるよ。インターネットに投稿すれば、それが一瞬で世界中に広がり、二度と消せないものとなるよ。

投稿する時、投稿を見た時はそれが正しい情報か冷静に判断することが大事。「一歩立ち止まって考えよう!」

このような子ども向けの安全教室は様々な会社で無料で催しているの、是非利用を!!

状況。ただインターネットには、危険が潜んでおり、パソコンでの被害はウィルスバスターである程度回避できるが、スマホの場合それが無い。犯罪被害のみならず、子どもたちの学校でのトラブルの殆どが学校裏サイト等からのネットいじめである。最近の流行としては、ツイッター・インスタ・スノー・ミク

チャ・ツイキャス・ティックトーク・荒野行動等があるが、保護者側はどれだけ理解しているだろうか?  
 また、ツイッターの女子高生の平均アカウント数は3.4個。本アカでリア充自慢、裏アカでは趣味の話のほか、愚痴や悪口等と使い分けている。SNSに起因する過去最悪の被害者を出した座間市の事件ではツイッターを介してのものだった。大人たちもこのような状況を知ることが必要である。

これが、保護者の感じる不安ベスト4!

安心ネットづくり促進協議会が、幼児・児童の保護者を対象に、「子どもがインターネットを利用する上での不安」について、アンケートを実施しました。不安ランキング1位から4位は以下のとおりです。(調査時期: 2015年12月7日~2016年1月25日)

保護者の皆様へ  
 お子様はインターネットを利用する上でこんな心配事ありませんか?

川崎市PTA連絡協議会では、平成19年度より、インターネット利用に関する啓発活動を実施しています。ご家庭において、インターネットを利用する子どもたち自身の気持ちを育てることが、さまざまなトラブルを回避する予防策の一つと考えます。

協力 1億人のネット宣言  
 もっとグッドネット  
 安心ネットづくり促進協議会

1位 身体・運動機能の発達  
 対策 ▶早寝・早起き・朝ごはん&外遊び!  
 ▶体をいっぱい動かして遊ばせよう。この時期にしかできない遊びがたくさんあります。友だちとの日常的なコミュニケーションが一番大切です。

2位 ネット依存  
 対策 ▶ご家庭で利用時間をコントロールしましょう!  
 ▶インターネットの長時間利用にならないよう、使用する頻度や時間を家族で話し合いましょう。

3位 不適切な情報に触れる  
 対策 ▶インターネット利用には、まずフィルタリング!  
 ▶有害な情報にふれさせないためには「フィルタリング」が有効です。大切なお子様を守るために、必ず設定をしましょう。(インターネットにつながる音楽プレーヤーなども注意!)

4位 ネットいじめ被害/加害  
 対策 ▶日常のモラルがネットのモラル!  
 ▶やって良いこと、悪いこと、ネットのモラルは特別なものではありません。ご家庭では、相手思いやる気持ちや、自制心・判断力・想像力を育み、日頃から何でも相談できる家庭環境を作りましょう。

お子様がインターネットを安全に利用するためにフィルタリングを設定しましょう!